

GUIDE BOOK

おかげさまで10周年!!



SETO  
SHIGOTOJUKU  
since2008



GUIDE BOOK

おかげさまで10周年!!



SETO  
SHIGOTOJUKU  
since2008



おしごとで瀬戸を盛り上げ、ひと招き

もっと  
もっと

# 瀬戸を元気にしたい!

そんな思いから始まったのが「せと・しごと塾」でした

平成20年に始まった「せと・しごと塾」。お陰さまで10周年を迎えることが出来ました。たくさんの方が「せと・しごと塾」で学び、いろんな事業を始めました。空き店舗だったところにお店がオープンしたり、あちこちでイベントやマルシェが開かれていたり、地域の困り事を解決するお仕事があったり…。もしかしたらそれ、せと・しごと塾の卒業生が関わっていたりするかも!? また、せと・しごと塾って「つながりが強いね」と言われる方が多いのは、きっと同期だけではなく、縦にも横にもつながっていて、互いに助け合ったり、コラボしたり、アドバイスし合ったり…。おせっかい好きな瀬戸の気質が色濃くでている、それが「せと・しごと塾」かもしれない。瀬戸が大好き! 瀬戸を元気にしたい! そんな思いを秘めた、地元愛あふれる熱い人たちがぎゅう〜と集まったせと・しごと塾。第2、第3の「瀬戸の新しい名物」となるかもしれない、そんな人たちをほんの一部ですが紹介しま〜す!







## 共通の思いは、「やっぱり瀬戸が好き！」

「せと・しごと塾」塾長と卒塾生2名が、しごと塾って「何をしているところなの?」、「どんな人が集まっているの?」を熱く語りました! 他の誰かや行政が動くのを待つのではなく、「自分が住む街は自分の手で良くしていきたい!」が塾生の共通の思いなのです。



せと・しごと塾 2期生  
梅野唯史さん

せと・しごと塾 塾長  
小坂英雄先生

せと・しごと塾 2期生  
湯浅亜紀さん

### せと・しごと塾といえば「つながり」!

【編集部】まずは「せと・しごと塾」の成り立ちを振り返ってもらえますか?  
 塾長:「せと・しごと塾」が始まったのは、平成20年。まだどんな事業になるか見えない中、始めた以上はとにかく3年は続けようというところになったんです。行政が手掛ける事業は、3年で一区切りすることが多いです。1期生が半年のコースを終えて事業計画発表会に臨んだ際、皆さんが別人のように生き生きと発表していたのがとても印象的でした。人をこんなにも変えられる「しごと塾」の可能性は、僕をはじめ関係者の皆さんが気がついた瞬間です。そして、「これはきっといい事業になるぞ」と確信しました。湯浅さんはどうして「しごと塾」に入ると思ったんですか?  
 湯浅:私は2期生になるのですが、1期生さんに知り合いがいて、瀬戸市が面白いこと始めたよーと聞いていたんです。そんな折、たまたま「広報せと」で募集のお知らせを見て、チャレンジしようと思いました。カリキュラムの半ばはグループワークがあるのですが、そこで一気に皆さんとの距離が縮まりました。業種は違えど、起業という同じ目的を持つ人達が集まっているので、やはり通じるものがあるんです。特に苦勞を共にした同期とはつながりが強いですね。入塾して思ったのは、経営について学ぶだけでなく、「しごと塾」に入らなかつたら絶対に知り得ないような人も接点が多かったのが収穫でした。現在に至るまでの大きな財産になっています。卒業後、乳幼児向けの講座を立ち上げると共に、温熱療法イトオテルミーの施術を行うセラピストとして活動し始めました。それに加え、瀬戸市を中心に各種イベントを企画・運営しています。市内の寺院や製陶所さんからも

お声がけいただいたりしています。その際、しごと塾で培ったつながりがとても役に立っています。普段しごと塾のメンバーは、個々が独立して活動していますが、イベント等があるとハッと一堂に会す。その強い結束力が特徴です。湯浅:湯浅さんは、瀬戸のコミュニティの中心にいるイメージです。そうですね。多岐に渡って湯浅さんに声をかけられ人が集まるようになっていきました。湯浅:そう言ってもらえるのはありがたいです。ただ、イベントの主権自体は、あまり利益を生んでいないとはいえないのですが(笑)。とはいいつつ、イベントをやっていると、皆さんに顔を覚えてもらえるので、テロミーサロンの方へ運んでくださる方がここ最近増えてきました。「あの湯浅さんがやっているサロンなら」と思ってもらえるみたいですね。ずっとボランティアとしてやっていたのが、今こうして実を結びつつあるなと感じています。塾長:梅野さんはどんなきっかけで「しごと塾」に入塾したんですか?  
 梅野:僕は1期生として入塾しました。誰か聞いたのか正確には思い出せませんが、卒業生以外の人からも「みんな行ってるよー」みたいに勧められたんです。で、いざ入ってみたら、噂に聞いていた「あの人も、そしてこの人も塾生だったんだって知ったんです。地元を再発見すると言っていたらいいでしょうか?地元でつながりが広がること、どこへ行っても知り合いに会えるし、毎日の生活が楽しくなりますよ。湯浅:私もそれを実感しています。先日「せともの祭」の時に街を歩いてたら、あちこちで知り合いに遭遇。缶ビール片手に真赤な顔をしていたので、気動ず

かしい気持ちもあったのですが、地域にこんなに知り合いがいるのっていいなーと素直に思いました。ただし、すっぴんで街を歩けません(笑)。他の市に住む友人達から「瀬戸ってコミュニティとしてキュッと固まっているよね」って、羨ましそうによく言われるんです。瀬戸って、「しごと塾」に限らず、地域の人が集まってお互いに刺激し合い、成長し合う場になっているんじゃないかと思っています。

【編集部】他の自治体にも創業塾はたくさんありますが、「せと・しごと塾」との違いはどこにあると思いますか?

塾長:塾生の満足度の高さでしょうか。誰に強制されるのでも瀬戸市への感謝の気持ちが、塾生さんの口々から自然に出てくるんですよ。実際、卒業時のアンケートでも、糧が足りないくらいコメントで埋まっています。卒業後、皆さんはそれぞれの分野で活動し始めるのですが、一人ひとりが発信力を持っているので影響力が大きい。周囲を巻き込んで、結果として街全体に活気をもたらしていますよね。そこが、「しごと塾」という仕組み、仕組みがともよくできている点なんだろうと思っています。予算をかけて行政がやる価値がある事業ですよ。

### 地域の課題をビジネスで解決する

塾長:女性比率が高いのも「しごと塾」の特徴だと思います。7割が女性です。日中、男性は市外に働きに出てしまっていることも多いですが、女性で普段から地域に根づいていますよね。だから、女性の方がたんなる課題が地域にあるのかを把握しているんです。そして、その地域課題を解決する際、ビジネスとして、仕事として請け負うのが「しごと塾」です。もしボランティアとして解決するのであれば、それは「しごと塾」ではなく、「市民活動センター」へ行ってしまうんじゃないかと思っています。湯浅さんは地域の課題として何を挙げますか?

湯浅:私が一番気になるのは、ママさん達の孤立でしょうか。今、子育て支援の活動をしていて、「一日中子どもと向き合っている閉塞感がある」なんてママさん達の声を聞く機会も多く、皆さんが他の人、社会とつながるような場を提供する必要性を感じています。社会的ニーズの高い課題なんだろうなーと思います。

【編集部】梅野さんは、「しごと塾」に入る前から起業されたんですか?

梅野:高齢者向けのデイサービス事業を創業し、2年目になったところで「しごと塾」に入りました。卒業後、学童事業を新たにスタートさせ、その後、第2店舗まで出すまでに事業が拡張しました。ただやりたいう気持ちだけでなく、経営の基礎を「しごと塾」できちっと学べたのがよかったのかなと思います。おかげさまで高齢者向けデイサービスも学童も、ずっとフル定員、100%稼働の状態が続いています。

【編集部】梅野さんの施設がそれだけ顧客から支持される理由は何でしょうか?

梅野:お客様に楽しく過ごせる場を提供するという経営理念をただひたすら貫いていることでしょうか。その意識をスタッフともしっかり分かち合っているの、スタッフ自身も楽しみながらお客様に接し、結果お客様にも喜んでいただけているのだと思います。経営理念は片時も忘れてはダメ。そこからブレることのないよう強い気持ちでいることが大切だと思います。

塾長:塾生さん全体をサッと見回して、半分くらいの人が「しごと塾」の入塾動機に「つながり」を挙げていて、残りの半分が事業経営を学びに入ってきていると言えます。「しごと塾」を語るキーワードとして、「多様性」があります。創業よりは地域とつながりや社会貢献を求める人材もいれば、バリバリ働いて事業を大きく育てたいと思っている人材もいる。いろんな考え方を持った人たちが互いに排除することなく理解し合うことで、居心地のいいコミュニティを形成できているんですよ。

### こんな瀬戸市になるといいな…

【編集部】今後の夢を語ってください!

梅野:「村」を作りたいと思っています。いろんな事業を僕が丸抱えやるのではなく、個人がそれぞれが主体的に動く事業を立ち上げ、独立しながらも有機的につながっている状況になるといいなと思っています。そういう意味で「しごと塾」って、大きなポテンシャルがあるなと思っています。

塾長:塾生さんって、内輪だけでなく外の人ともしつこりつながっているの、その塾生さんの周りにいる人や街を活性化させていこうって思っていますよ。湯浅さんの夢は?

湯浅:先ほども言いましたが、私が今取り組んでいる街づくり、子育て支援の活動は、ボランティアベースのことが多いのが現状です。ただ、それと個人の熱意、善意によるところが大きいのが事実。今後は、もっと仕事ベースでそれらの地域課題を解決して形に持っていきたいなと思っています。ビジネスとしてちゃんと仕組み化し、組織化し、持続可能な体制に築き上げていくのが目標です。

塾長:「しごと塾」のテーマは「自立、貢献、挑戦」。挑戦を繰り返しながら事業経営し、社会に貢献できる人材であり続けて欲しいと思います。今日は二人ともありがとうございました。



□育笑空間

- 温熱療法イトオテルミーサロン「育笑空間」運営
- 乳幼児親子向け講座開催 ●マルシェ、イベント運営

DATA ●平成21年12月開業 ●瀬戸市共栄通1-7-1  
 ●070-5030-0329  
 ●【ブログ】<https://ameblo.jp/kuemi-seto/>

体も心もあたためます!  
 「温熱療法イトオテルミー」サロンを営むかたわら、乳幼児親子向け講座を開催しています。赤ちゃんや小さなお子様対象にしますが、私の場合、ママさん達にいかにもストレス発散してもらおうか、その場を楽しんでもらうかに心を砕いています。孤立した状況の中で育児をするママも少なくない中、ママたちがホッとできる場を作りたいんです。これからも、しごと塾で築いた縁を大切にしながら、ママと子供たちの気持ちが高くなる活動を続けていきたいと思っています。



□株式会社 クローバー

- デイサービスクローバー(介護保険事業)
- きざっクローバー(学童保育事業) ●メゾクローバー(保育所)

DATA ●平成22年4月開業 ●瀬戸市上本町818  
 ●0561-57-9848 ●【HP】<http://www.clover0.jp>

小学生からお年寄りまで世代を超えた交流でまちを元気に!  
 平成22年4月、デイサービスで創業しました。カフェのような雰囲気である空間の中、お年寄りが手芸や体操、食事等を楽しんだり楽しく過ごされたいよう配慮しています。加えて1年後には、小学生対象の学童保育サービスも始めました。おやつ時間は小学生とお年寄りが一緒にテーブルを囲みます。小学生のパワーがお年寄りの元気の源になっていて、見ていて微笑ましくなります。今後の展望としては、高齢者入居施設や配食サービスにも取り組みたいです。地域が本来もつ力をフルに発揮し、皆が自分の生活を自分の手で豊かなものにしていけるまちになりたいと考えています。